

1 . 調査報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2791300029
法人名	社会福祉法人 貝塚誠心園
事業所名	グループホーム きしまの里
所在地	大阪府貝塚市三ツ松869-1 ( 電話 )072-446-8200
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル
訪問調査日	平成21年2月24日

【情報提供票より】 ( 21年 1月 26日 事業所記入 )

( 1 ) 組織概要

開設年月日	平成19年4月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 常勤 5人, 非常勤 3 人, 常勤換算6.8 人

( 2 ) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	3 階建ての 2 階部分

( 3 ) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有 ( 円 )	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円 )	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,500 円	

( 4 ) 利用者の概要 ( 1月 26日 現在 )

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護 1		要介護 2		1	
要介護 3	3	要介護 4		4	
要介護 5	1	要支援 2			
年齢	平均 88.8 歳	最低	84 歳	最高	94 歳

( 5 ) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人桐葉会 木島病院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

水間鉄道の三ツ松駅から徒歩5分ぐらいの交通の便がとても良い所で、小学校、保育園が近くにあり施設に訪問に来られる機会が多く、開設されて2年近くですが少しづつ地域の中に根付いてきているのが感じられました。又、デイサービス、ユニット型特養が併設されており、緊急時には24時間オンコール体制がとられており入所者は安心して暮らされています。入居されている方は重度化されていますが、その方に寄り添った支援をされ、管理者の方は、一人ひとりの残存機能を活かした生活に力を入れておられ職員間でも共有されています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 ( 関連項目 : 外部4 ) 前回の外部評価で明らかになった課題は、職員間で検討し改善されました。何事に対しても前向きに取り組み、サービスの質の向上を目指し努力しています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況 ( 関連項目 : 外部4 ) 改善が必要な点も理解されており、職員間で話し合いサービスの質の向上に努力しているのが伺えました。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み ( 関連項目 : 外部4 , 5 , 6 ) 二ヶ月毎に開催されており、自己評価や外部評価で明らかになった課題、施設の現状、行事予定など、取り組みについて報告しています。又、出された意見、要望は職員間で話し合い、改善に向けて入居者の方が安心して暮らして頂けるように努力しています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 ( 関連項目 : 外部7 , 8 ) 意見箱を設置していますが、面会時に相談を受けたり、苦情を気軽に話して頂けるように働きかけています。相談や苦情があれば敏速に対応してホームの運営に活かす努力しています。
重点項目	日常生活における地域との連携 ( 関連項目 : 外部3 ) 併設のデイサービスを地域の方が利用されており、入居者の方も出入りされており施設の中でも交流があります。又、散歩、買い物など通して地域の住民の方々と交流を深めていけるように努めています。

## 2 . 調 査 報 告 書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>．理念に基づく運営</b>					
<b>1 . 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	安心、信頼、満足を基本理念にとし常に利用者の方のことを第一に考え、思いやりの心、優しい心、親切な心を持って支援するという施設独自の理念が確立されています。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に理念を掲げ、出入りする時は誰にでも目につくようにしています。管理者は日々の業務の中で常に理念に沿ったケアに心がけるよう職員の指導を徹底しており、職員も理念の実践に向けて日々取り組んでいます。		
<b>2 . 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のボランティアの訪問や、小学校、保育所の慰問があり、地域の方との交流が積極的にされています。高校生が訪問することもあり、メッセージが掲示されておりアットホームな感じが見られました。		
<b>3 . 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員ともに自己評価、外部評価の意義を十分に理解しており、前回の評価で課題となった点を改善されるなど積極的に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月毎に必ず開催されています。利用者の方の代表、家族代表、町内会長、高齢介護課の職員の参加があり、情報提供や情報交換が積極的に行われ、記録も書かれています。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外は市町村担当者との行き来する機会がないとのこと。</p>		<p>今後現場での問題点など、課題解決に向け協議していけるような関係を作っていけてはいかがでしょうか。行政と連携を深め地域サービスの更なる推進に期待します。</p>
<p>向け協議していけるような</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の方のご家族は、ほぼ毎月、多い方で週一度は必ず面会に訪れるので、面会時に近況報告され、状態変化等あれば、その都度電話連絡を行っています。金銭管理についても必ず毎月報告をしています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置し運営に反映できるようにしています。面会時にも意見を聴けるように働きかけています。</p>		<p>家族会を開催されていないようですが、年に一度ぐらいでも、家族さん同士が集まりお互いの意見交換の場を提供され、外部に表せる機会を設けられてはいかがでしょうか。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設して二年が経過。その間、移動は必要最小限に留めるなど利用者の方への配慮がされています。</p>		


外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5 . 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者や職員は、法人内での委員会や研修に積極的に参加され、知識や技術を取得できるよう努力しています。研修に参加されていない職員に対しても伝達や報告書等で周知しています。</p>		<p>内部での研修は十分に行われているようですが、外部研修にも参加されてはいかがでしょうか。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在は同業者との交流は図れていないようですが、今後はグループホーム協議会に入会して、研修や情報交換に参加してサービスの向上に取り組もうとされている姿勢が見られます。</p>		
<b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に見学の機会を持ち、いきなりサービスを開始するのではなく、本人や家族に説明を十分に行い、安心してホームに馴染めるよう環境作りを工夫しています。</p>		
<b>2 . 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>本人の出来ることを見つけ、洗濯物干しや、洗濯物たたみなど職員と一緒にされています。昔の歌やおはぎ作りなどは、職員が教わることも多く、日常生活の中で共に支え合う関係が築かれています。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1．一人ひとりの把握</b></p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の方との会話の中から情報を得たり、入居時に家族から情報収集を行ったりしています。本人の希望や意向の把握に努めています。</p>		
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者本人や家族の希望を聞き、職員の日常の記録、日々の生活状態を把握して個別の介護計画が立てられて、ご家族の捺印を頂いています。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に見直しが行われています。状態に変化があった場合は、その都度、本人・家族・職員の話し合いのもと、現状に即するよう見直しが行われています。</p>		
<p><b>3．多機能性を活かした柔軟な支援</b></p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>同じ建物の中にあるデイサービスに参加したり、特養の機械浴を身体レベルに合わせて利用しています、又、看護師とも24時間連絡できる体制も確立されています。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族には身体状況について連絡をしています。本人や、家族の希望とするかかりつけ医に受診できる体制が取られています。協力病院とも連絡がとられています。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>医療面、栄養面、介護面で可能な限り出来る範囲内でホームで対応される体制であるが、対応できない場合は病院搬送することになっています。現状では看取りの体制がとられていないようです。</p>		<p>今後、利用者やご家族さんとの関わりの中で、看取りを望まれる方には職員の連携で沿えていけるような取り組みに期待します。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>職員の優しい声掛けは、利用者の方の表情に出ていました。「おしっこ」と言われた方を、そっと他者に気づかれないようにさりげなくトイレに誘導されている場を確認しました。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>重度化されている状況の中で、全員とまでいきませんが、買い物、散歩など個別に配慮され柔軟に対応しています。本人の一日のペースを大切にして、その人がそらしく過ごせるようにしています。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
( 2 ) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は併設の施設の厨房で作ってホーム内で調理されていませんが、汁物を注いだり、片付け等をできる方にはして頂き、時々のおやつ作りは、できることを手伝ってもらえるように取り組んでいます。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週二回入浴日を決めています。希望があればいつでも入浴できる体制が取られています。身体レベルに合わせて機械浴を併設の特養で利用しています。		
( 3 ) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	得意分野でその人その人の力を発揮して頂けるように、職員が働きかけています。おはぎ作りなどでは職員が教わるほどの出来栄を披露してくれます。又、ぬり絵をしたり、懐かしい歌を唄ったりして気分転換や楽しみながら過ごされていました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の方の重度化により、個別に外出する機会は減っていますが、希望される方は、買い物や散歩に出ています。又、行事の一環としてドライブやお花見会などを計画しています。		
( 4 ) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵は本人が鍵を掛けない限りかけていません。日中は、玄関の鍵も掛けないようにしています。職員が鍵を掛けない弊害を理解し危険防止に努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署立会のもと、年3回訓練が実施されており、マニュアルも整備しています。事業所間の支援体制も確立されています。</p>		
会					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>併設の管理栄養士がカロリー計算など行っており、食事量、水分摂取状況を毎回チェックし記録に残しています。利用者一人ひとりの食事摂取量を把握して、必要に応じた適切な対応ができています。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間は、広いスペースをとっており、何時でも寛げる様にソファやテーブルが適所に配慮されており、穏やかな雰囲気の中で居心地良く過ごせる共有空間を工夫しています。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、家族が面会時使う椅子等を持参され、利用者の方と共に寛げる様にされています。又、本人が使い慣れた家具や備品の配置がされて、居心地良く過ごせる工夫をしています。</p>		

 は、重点項目。